

2015/16 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報



世界へのプレゼントになろう

第 2529 回例会 2016 年 1 月 13 日 (水) SAA (司会) / 小澤会員 会報担当 / 小澤会員

事務局 市原商工会議所内 市原市五井中央西 1-22-25 例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正
- ソング 我等の生業
- お客様 ごさいませんでした
- 会長挨拶 市原 RC 会長 万崎英正

上條さん、長田さん、小泉さんお帰りなさい。お疲れさまでした。そしてありがとうございました。PJRC の 55 周年式典は華やかでしたか。またマレーシアの数日間は怎么样了か。グローバル補助金の現地視察はどうだったでしょうか。後日の卓話での報告を楽しみにしています。そして、今日から山内さんが我々の仲間入りです。あとで新入会員認証式がありますので緊張しててください。

折り返し点を目標にスタートし、やっと先週折り返し点にたどり着き、折り返し点を背に 7 月のゴールを目指して今日が 26 回目の例会です。今年度から導入しています CLP (クラブ・リーダーシップ・プラン) 何だか良く分からずにスタート致しましたが、少しずつではありますが、浸透してきたでしょうか。一人二役の委員会配属は慣れてきましたか。み



んなで考え、みんなで一緒に行動する。これが CLP の基本です。といっても活動していない委員会は通年通りの委員会活動になっていませんか。そんな風になってしまわないように今年度は長期計画委員会を設置いたしました。今、長期計画委員会は会員満足度アンケートの集計で精一杯になっています。このアンケート調査で明日の我がクラブの指針を決めていこうとしているのですから。大変なことはじゅじゅでも、もう一つやらなくてはならない仕事があります。それは、各委員会活動が順調か、年次目標に対して達成率はどのくらいかなどのチェックをする仕事があります。「みんなで考え、みんなで一緒に行動しているか」そうでなければそれを理事会に勧告し、委員会の活性化を

促がしてください。委員長のお手並み拝見スタイルになっていないかのチェックです。先日の交換留学生の委員会行動のことでちょっと気が付いたので、話をさせていただきます。委員会を開催いたしました。参加した委員が小委員長だけでした。委員会全員には声をかけたのですが委員は欠席でした。これでは委員長のお手並み拝見になってしまいます。委員長はすべての段取りや打ち合わせを一人でやらなければならない、その負担は耐えられないものとなります。これを続ければまた、先祖帰りになってしまいます。

もう二度とこの委員会の配属は嫌だということになってしまいます。理事会でも委員会報告たるものがありますが、上辺だけの報告で会長の私にはあまり理解できないようなところがあります。仕事で現場の報告が曖昧だと心配になりませんか。そんな現場にいずれ起こるのが工事の遅れや事故です。遅れや事故を未然に防ぐのが長期計画委員会です。各委員会にチェックを入れて下さい。今後のクラブの指針も大事ですが、これからそれを実行していく会員が今育っていかなくては、実行に移せません。各委員会にチェックを入れて下さい。各委員長もちょっと気合を入れ直して委員会活動をお願いいたします。長期計画委員会へのお願いです。

◆◆◆◆◆幹事報告◆◆◆◆◆

小池会員研修委員長により 1/28 会員研修が開催されます。ご参加宜しくお願い致します。

◆◆◆◆◆委員会報告◆◆◆◆◆

・クラブ研修リーダー 始関リーダーから中核的価値観 (CORE VALUES) について説明

・職業奉仕小委員会 上條委員長からベタリングジャヤ RC の 55 周年記念事業参加の報告

PJ 55 周年記念参加 会長代理：上條会員

ベタリングジャヤ RC の 55 周年記念式典に、長田会員、小泉会員、上條の 3 名で公式訪問として出席して参りました。

1/8 (金) に開催された姉妹クラブ歓迎晩餐会の壇上で、万崎会長よりお預かりしましたお祝い金 US\$1,000 を Rianne Chine 会長へ手渡しました。

同会は 7 姉妹クラブ 150 名を含めて、200 名超の宴会でした。

1/10（日）はRCPJ55周年記念式典が開催され、680名が参加する盛大なパーティーでして、その記念誌を万崎会長、西村副会長、山本奉仕プロジェクト委員長、宮武国際奉仕委員長、平野幹事に配布致します。詳しくは1/27例会にてご報告します。

本日のメインプログラム

卓話「ロータリーの歴史」パート2

シカゴロータリークラブの創設から世界への拡大へ

会員情報小委員会 小池清二

前回に引き続きロータリーの歴史についてお話をいたします。前はロータリー・クラブの創始者、ポール・ハリスの生い立ちからアイオワ州立大学法律科卒業後、弁護士となる。

卒業後、5年間の見学旅行で北米からヨーロッパを巡り、数多くの職業とその人たちと交わり、温かい友情と、過分の援助を受け、他人に奉仕すれば何倍にもなって報いられることを体験した。28歳でシカゴに弁護士事務所を開業し、一生懸命努力した結果、好評価を受けたが、弱肉強食の世界では本当の友がおらず、孤独感を抱く日々でした。客で、田舎出身で、連帯感のある、心底打ち解け信頼できる友とクラブを作りたいと願い、4人で1905年2月23日第1回の会議を開き、クラブを創設したのです。会員の事務所を巡回して会議をすることから「ロータリー・クラブ」と名付けました。7回会議を事務所で行ううちに会員数が増え、ホテルの会議室に移り、会場が固定されました。

1906年1月シカゴロータリー・クラブ（以後RCとする）に定款兼綱領2カ条が制定されましたが、ドナルド・カーター（のちの社会奉仕の父）に利己だけのクラブには入会しないと拒否、第3条シカゴ市の最大の利益を推進することで入会を了承した。これで、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕の要素が組み込まれたクラブとなりました。

1907年ポール・ハリスが三代目の会長に就任するやRCの他地区への拡大を主張するも、会員の親睦・互恵派から経費の負担を危惧する会員が多く進展しなかった。全国的なクラブの連盟を結成して会を運営することで妥協された。この騒動でポール・ハリスは2期目の途中で会長を辞任し、連盟の会長に就任し、事務総長にチェス・ベリーを伴い北米全土にロータリーの拡大に奔走していった。

1908年にアーサー・フレデリック・シェルドンがシカゴRCに入会し、本職の経営学・販売学の理念、「最も多く奉仕する者、最も多く報いられる」という経営哲学をクラブ奉仕に取り入れたところ反響が大きく、会員増強につながりました。

1910年第1回全米ロータリー連合会全国大会にシェルドンが講演し「最も奉仕する者、最も多く報いられる」という経営哲学を講演したところ、足の踏み場もないほどの聴衆が集まり大反響を受けました。

1912年第2回全米ロータリー連合会全国大会に再びシェルドンが「私の宣言」と題し講演しました。経営学とは最も奉仕する販売学である。事業の成功は上得意の確保と販売学の教育にある。人生の成功は心理的、道徳的、物質的の自然の法則に支配されているので、全

て調和させることである。常に他人の幸せを願うことが、自らが成功への道を歩んでいることになる。参加者は大喝采を送りました。

同大会のエックスカーションの場でミアポリスRC会長のベンジャミン・フランク・コリンズが、自クラブの運営方法は「Service not self」であると唱え、自分を否定するのではなく、クラブ以外の人にもロータリーの奉仕を反映させているのだと説明されています。このnotに違和感ありとして1922年に「Service above self」と語句の変更があり、注釈に（他人のことを思いやり、他人の為に尽くすこと）と記されています。この語句が現在ロータリーのモットーの第一標語となっています。

1912年ダールズの国際大会で綱領が採択され、国際奉仕が始まりました。この大会で実践派の人たちが身体障害児救済事業をロータリーは一丸となってやるべきという決議案を上程し、これが採択されました。この為、ロータリー創立理念を守るべきだとする派との対立があり、ロータリーは分裂の危機に瀕しました。以後10数年の論争が続きました。

1917年実践派のテキサス・ダラスRCのジョーンズがクラブを退会し、「ライオンズ・クラブ」を創設しました。財政的支援を優先し、「We SERVE」の主義で社会奉仕に専念すると表明したのです。

1923年、10数年の間、クラブ奉仕か社会奉仕かの理念の論争の結果、調和を図り、分裂を防ぐため、従来からの奉仕部門の考え方や行動を整理して規定審議会に「23-34」号として採決され、論争の終止符が打たれました。それ以後修正もなく経過しております。

1924年に「ニコニコ箱」の妙案が創設され、クラブの社会奉仕の団体奉仕の財源として活用されることとなりました。

1927年には四大奉仕活動に機構改革がなされ、クラブの活動が分化され活性化が促進されることとなりました。

1928年 国際大会においてロータリー財団創設。1983年非営利財団法人となる。

1929年 国際大会で「最も多く奉仕する者、最も多く報いられる」というシェルドンの経営哲学の標語の廃止案が上程され、否決されましたが、2年前の四大奉仕活動に機構改革されたことからシェルドンはショックを受けたのか、1930年にRCを退会しました。

1932年 ハーバート・テラー（シカゴRC）がアルミ工場の再建策として四つのテストの標語を作り、全従業員に周知徹底させ工場の再建を図りました。今尚、全ロータリー・クラブの例会で熱唱しています。

ここで全米へのロータリーの拡大を見ますと、先ず1908年西海岸のサンフランシスコRCを皮切りに、トランシティーRC、シアトルRC、ロスアンゼルスRCと続き、1909年8月には東部のニューヨークRC、ボストンRC、タコマRC、ミネアポリスRC、セントポールRCと続き、中部への拡大は、セトルイスRC、ニューオリンズRC、カンザスシティRC、リンカーンRC、デトロイトRC、ポートランドRCが1年間の内に創設されました。中には6か月に280名もの会員が入会して急成長したクラブもあります。

海外への拡大を見ますと1910年にカナダのウイニペグRC、11年にアイルランドのダブリンRC、8月にロンドンRC、13年に100番目としてフェニックスRC、1918年にフィリピンのマニラRC、19年に上海RC、20年に東京RC（855番目）、22年ブラジル・サンパウロRC

が誕生しました。このように急速に世界への拡大されていく中で、職業奉仕か社会奉仕かの論争に終止符が打たれたのが1923年の規定審議会に[23-34]

(本来の諸活動に対するロータリーの方針を再確認、国際ロータリーとロータリー・クラブにおける今後の手引きとなる原則)として上程され、採決されたのです。これによって、RI、クラブ、ロータリアンの定義が確率、個人奉仕の原則確認がされ、クラブとしての団体奉仕を条件付きで是認され、ロータリーに関する諸活動が明確化されたのであります。

1914-18年の第1次世界大戦はヨーロッパが主戦場で疲弊している中、アメリカは経済が好調で世界の金持ちがアメリカ株を買い続けていたが、ヨーロッパの経済が回復するとアメリカ経済が低迷を来し1929年ニューヨーク株の大暴落を機に世界的な大恐慌となりました。政権交代で経済政策の変更(ニューディール政策)も有ったが、なかなか経済の回復ができませんでした。これらの環境下で、多くのRCの消滅や、会員数の減少(27クラブ、2000名の減少)を見ましたが、シェルダンの職業奉仕理念の実践により経済的なダメージは余りありませんでした。

1932年 シカゴRCのハーバート・テラーがアルミ会社の再建策に「四つのテスト」の標語を作り、全社員に主旨徹底させて会社経営させた結果、大変な効果を得て再建されたそうです。現在世界中のクラブの例会で斉唱されております。

1939年勃発～45年終結の第2次世界大戦が長期にわたり行われ、世界の枢軸国のロータリー離脱や会員の退会が余儀なくされたことは大変苦渋の時期でありました。RI脱退中も日本のロータリーは名称を変更して、隠れて例会を継続していました。従って1945年の終戦後のロータリー運動は、経済の発展とともにクラブ数、会員数が増加して、クラブの奉仕活動が躍進されていきました。

1945年 日本国際ロータリーに7クラブが復帰。

1955年 ロータリー創立50周年。クラブ数:8,313
会員数 392,628名。

1980年 第1回ポリオ撲滅行事がフィリピンで開催。

1990年 モスクワRC創設(25,000番目)。

1945年、第2次世界大戦終了後は経済の復興とともに生活にゆとりも出てきて、ロータリー・クラブに入会者多くなりましたが、ロータリーの奉仕の原理を踏まない人たちが圧倒的に増えてきて、理論ではなく実践をやらなきゃロータリーではない雰囲気となり、社会奉仕に重きを置くようになりました。奉仕の哲学を踏まえた行動が、奉仕の実践です。

実践とは単なる行動ではなく、綱領のなかの実践はApplicationという言葉が使われています。Application of the ideal of service、(奉仕の心の適用であり、奉仕の心を踏まえたら、その心の延長線上に行動を起こすこと)という意味です。最近のロータリーはライオンズ・クラブの追随をしているようで残念です。

1970年以降になりますと世界がグローバル化して、経済システムの変化が起こり、新資本主義の台頭で、職業倫理の低下した虚構的投資会社が乱立、実態経済と懸け離れた利益を追求しており、職業奉仕理念の軽薄化と衰退をきたしております。

国際ロータリーも巨大化し、ポランチャ化した奉仕活動に傾注し、クラブの運営をCLP化させ、会員増強を図らせ、人頭分担金の増額を意図しているものと思います。

温故知新、我々クラブ会員は、古きロータリーを学び、今、これからのようなクラブ例会をもとに、クラブ運営をしていくべきか、どのように会員増強を図り、地域社会、敷いては世界平和に貢献できるのか、本日の卓話が少しでも参考になれば幸いです。2回にわたりご静聴ありがとうございました。



万崎会長・平野幹事

山内様 入会ありがとうございます。宜しく願い致します。

小池会員 卓話ありがとうございます。我々も小池道場に参加いたします。

西村芳雄会員

上條さん、長田さん、小泉さん ご苦労様でした。お土産話をお願いします。

小池会員

雑な卓話で申し訳ございません。ご静聴ありがとうございました。

蔵内会員

お酒を飲まないのに、急性膀胱炎になって長期入院しました。無事退院できてよかったです。今日は快気祝いをいただきありがとうございます。

■出席報告 前々回確定 60.97% 本日出席 28名

欠席 13名 本日出席率 66.67%

■点 鐘 市原RC会長 万崎英正